

shimonita infomation

お知らせ版

- 下仁田町役場 ☎ 82-2111
- 保健センター ☎ 82-5490
- 下仁田町公民館 ☎ 82-3535
- 下仁田厚生病院 ☎ 82-3555
- 荒船の湯 ☎ 60-6004
- ふるさとセンター ☎ 82-5345
- 下仁田町自然史館 ☎ 70-3070
- 防災無線電話応答サービス ☎ 82-4433

在宅重度障害者 介護手当

町では、在宅の重度障害者を介護している方に、介護手当を支給します。年齢3歳以上で「障害者の範囲」のいずれかに該当し、かつ「支給要件」の全てを満たす方を介護している方で申請していない方は、8日(金)までに役場健康課福祉係までご連絡ください。

▽障害者の範囲

・両上肢、両下肢、体幹機能に重度の障害を有する方で、身体障害者手帳1・2級所持者(片上下肢の障害、両上下肢でも比較的程度の軽い障害は該当になりません)

・療育手帳A所持者

▽支給要件

・町内に住所を有し、3ヶ月以上居住する方

・群馬県在宅重度障害者介護手当、下仁田町介護慰労金を受給していない方

・下仁田町福祉作業所に通所していない方

・入所、短期入所、入院等により家庭を離れた期間が100日以内である方

▽手当額

・年額2万円

すでに受給されている方には申請書を送付します。必要事項を記入し、提出してください。

▽問い合わせ先

健康課福祉係 内線326

探鳥会の開催について

日本野鳥の会群馬県支部では、富岡甘楽地区の住民を対象とした探鳥会を左記のとおり開催いたします。

▽日時

2月16日(土)

▽場所

大塩湖(富岡市南後)

▽集合

大塩湖堤防西側

▽時間

午前10時(雨天中止)

▽参加費

一人100円

▽案内者

日本野鳥の会会員

▽コース

大塩湖の周りを歩いて、カモたちを中心に観察します。

▽問い合わせ

日本野鳥の会

▽問い合わせ先

群馬県支部 ☎ 027-132515211

公開講座のお知らせ

「歯周病と健康長寿」

▽講師

新潟大学大学院 医歯学総合

研究科

教授 吉江 弘正 先生(旧)

吉井町出身)

▽日時

3月10日(日)

午後1時30分～3時

▽場所

富岡市生涯学習センターホール

▽主催

富岡甘楽歯科医師会

▽共催

下仁田町、富岡保健

▽共催

福祉事務所、富岡市、南牧村、甘楽町

*入場無料

皆さまお誘いあわせのうえ、

▽お問い合わせ先

富岡甘楽歯科医師会事務局

☎ 0274-62-11706

自衛管採用試験案内

●幹部候補生

▽受験資格

20歳～26歳未満

▽受付期間

平成25年2月1日～4月27

日まで

▽試験日(一次)

平成25年5月12・13日

●自衛官候補生受験資格

▽受験資格

18歳～27歳未満

▽受験資格

平成25年1月15日～2月1

日まで

▽試験日(一次)

平成25年2月26日

●予備自衛官補

▽受験資格

18歳～34歳未満

▽受付期間

平成25年1月11日～4月4

日まで

▽試験日

平成25年4月13日～16日

間の一日

▽問い合わせ先

自衛隊 高崎地域事務所

高崎市あら町5-5

☎ 027-326-11761

恋にやく手作り

参加者募集

下仁田町商工会青年部ではバレンタインデー企画として「恋にやく手作り体験」を行います。

▽日時

2月10日(日) 午前

10時から

▽場所

こんにやく手作り体験道場

▽参加費

500円

▽定員

先着51名

▽問い合わせ先

下仁田町商工会

☎ 82-3206

林野火災予防について

今は林野火災の発生しやすい季節です。特に5月初旬までは空気が乾燥し、下草も燃えやすい季節で、富岡森林事務所管内で最も林野火災が多い時期です。森林所得者・森林周辺の農業者・林野内の作業者・入山者等の方々は左記の事項に十分ご注意ください。

- 枯れ草等の火災が起こりやすい場所でのたき火はしない。
 - たき火等火気の使用後、その場所を離れるときは完全に消火する。
 - 強風時及び乾燥時にはたき火をしない。
 - 火入れをしない。
 - 野外での喫煙は、必ず携帯用の灰皿を使用し、タバコの吸い殻は投げ捨てない。
- ▽連絡先 富岡森林事務所総務森林係 ☎62-11535

2月期の児童手当

2月8日(金)に各口座に振り込みますのでご確認ください。

なお、振込通知は申請等により額に変更があった場合のみ送付します。

▽問い合わせ先
健康課福祉係(内線326)

おでかけください

「荒船の湯」ではマイクロバスでの送迎を行っております。

15人以上でお申し込みください。【15人以上28人まで】

▽開館時間 午前10時～午後8時

▽定休日 月曜日(祝祭日のときは、その翌日)

▽利用料金 町民300円(時間制限なし)

▽お問い合わせ先 荒船の湯 ☎60-6004

2月7日は

「北方領土の日」です

「北方領土の日」は、昭和56年1月の閣議了解により設けられました。

政府は、北方四島の帰属問題を解決して平和条約を締結するとういう我が国の基本方針の下、返還実現に向けて、外交交渉を継続しております。

国民一人ひとりが北方領土問題に対する関心と理解を深め、政府と国民が一体となって取り組むことが重要です。

緊急雇用 臨時職員募集

町では離職を余儀なくされた非正規労働者や中高年失業者等を対象に次のとおり職員を募集します。

仕事内容 野猿の追払い(花火等の使用及び林地等への追い上げ)・野生鳥獣の出没しづらい環境整備(藪の下草刈り等)

募集人員 2名

雇用期間 平成25年3月～平成25年8月の6か月間
月15日程度(野猿の出没状況により変則時間勤務)

賃金 日額8,000円

保険関係 労働保険加入(労災保険、雇用保険)

申込期間 2月18日(月)まで、申込時履歴書を提出。後日面接により選考

資格 普通自動車免許、安全衛生教育をすでに取得の方は優遇、無い方は自費にて取得していただきます。

申込み・問い合わせ

産業振興課農林係 ☎82-2111(内線344)

緊急雇用 臨時職員募集

町教育委員会では学校支援員を募集します。

業務内容 町立小中学校での学習支援及び学校図書館事務等

募集人員 小学校1名、中学校1名

賃金 日額 6,100円

保険関係 社会保険・雇用保険・労災保険加入

採用期間 平成25年4月1日より1年間

申込手続 市販の履歴書に必要事項を記入(写真を貼付)のうえ教育委員会学校教育係に提出してください。

申込期間 平成25年2月4日(月)から
平成25年2月28日(木)まで

面接日 別途連絡します。

その他 今回の募集に際しては、群馬県緊急雇用創出基金事業を活用しております。

以前に上記基金事業により群馬県や他市町村に1年以上雇用された方は募集対象となりません。

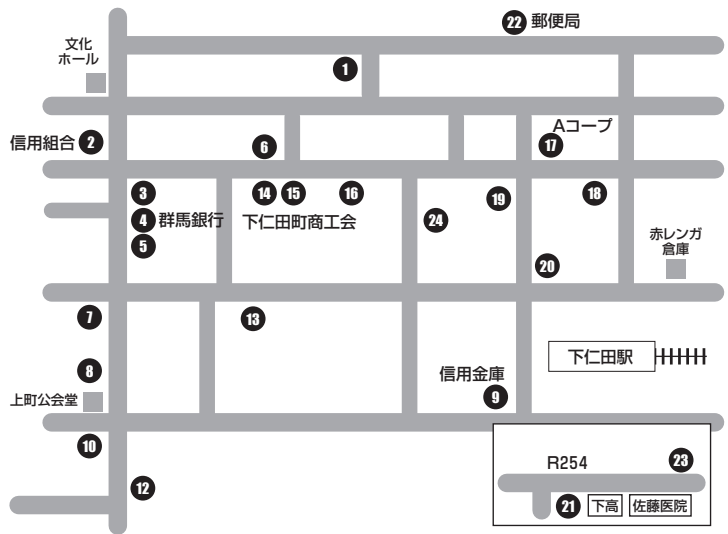
詳細な業務内容・雇用条件・申込手続き等は下記にお問い合わせください。

教育委員会学校教育係 ☎82-2111(内線711)

第13回 「まちじゅう美術館」 開催!!

下仁田町商業協同組合主催による下仁田町小中学校生徒絵画作品展「まちじゅう美術館」が2月6日(水)から3月6日(水)まで開催されます。

今回の「まちじゅう美術館」開催については、下仁田小・中学校のご協力をいただき、児童・生徒の絵画作品を展示することになりました。どの作品も素晴らしい感性に輝き選び抜かれたものばかりです。お買い物ごてらに、各店内にてご鑑賞ください。



| No | 参加店 | 作品生徒氏名 | 学年 | No | 参加店 | 作品生徒氏名 | 学年 | No | 参加店 | 作品生徒氏名 | 学年 | | | |
|----|---------|----------|-----|----|---------|--------|---------|-------|--------|--------|-------|-----|-------|------|
| 1 | 茂木時計店 | 佐俣 琉貴 | 下小1 | 8 | 新彦商店 | 清水明日香 | 下中1 | 20 | 飯塚時計店 | 工藤梨夏子 | 下小4 | | | |
| 2 | 群馬県信用組合 | 岡野 雄太 | 下中3 | 9 | しのめ信用金庫 | 石井 瑛士 | 下小1 | 21 | 花のたかはし | 福田 帆輪 | 下中2 | | | |
| | | 瀬上ファーマ美樹 | 下中3 | | | 齋藤 瑞葵 | 下小2 | 22 | | 下仁田郵便局 | 茂木 涼介 | 下中1 | | |
| | | 金井 健太 | 下中3 | | | 松浦萌々子 | 下小3 | | | | 村木ひかる | 下中1 | | |
| | | 佐藤 寛太 | 下中3 | | | 小井土桜 | 下小4 | | | | 茂木 聖 | 下中1 | | |
| | | 佐藤 直宗 | 下中3 | | | 矢越 恋華 | 下小4 | | | | 清水 大輔 | 下中1 | | |
| | | 藤田 睦 | 下中3 | | | 白田明日渡 | 下小5 | | | | 荻野 真妃 | 下中1 | | |
| | | | | | | 永井 健太 | 下小5 | | | | 長岡 柚希 | 下中1 | | |
| 3 | 森川酒店 | 高田 紅音 | 下小5 | | | 10 | かしわや | 山田佳寿美 | | | 下中2 | | 新井 沙輝 | 下中2 |
| 4 | 群馬銀行 | 坂本トラジ | 下小1 | | | 12 | カシワヤ薬局 | 永井 歩 | | | 下中1 | | 上原千季花 | 下中2 |
| | | 黒澤 倅菜 | 下小1 | | | 13 | 蠟山酒店 | 牧野 未季 | | | 下小5 | | 岩井美央梨 | 下中2 |
| | | 神谷 綾太 | 下小2 | | | 14 | 下仁田町商工会 | 小井土恵一 | | | 下小6 | | 岩井飛加梨 | 下中2 |
| | | 茂木もも花 | 下小2 | | | 15 | たかはし | 永井 健太 | | | 下中2 | | 谷 朱里 | 下中2 |
| | | 神宮 陽 | 下小3 | | | 16 | 鈴木電機商会 | 有賀謙吾 | | | 下小4 | | 松原 伊吹 | 下中2 |
| | | 高橋 折来 | 下小3 | | | 17 | 彘びすや米穀店 | 吉光寺垂弥 | | | 下小4 | 23 | 寝具の大島 | 佐藤 光 |
| | | 生方 海志 | 下小4 | 18 | 金子酒店 | 上原千季花 | 下中2 | 24 | 紙屋 | | 吉澤 佳 | 下小4 | | |
| | | 岩井 由佳 | 下小4 | 19 | 大井田薬局 | 荻野 真妃 | 下中1 | | | | | | | |
| | | 岩淵 陽祐 | 下小5 | | | | | | | | | | | |
| | | 下山 佳祐 | 下小6 | | | | | | | | | | | |
| | | 岡野 由奈 | 下中1 | | | | | | | | | | | |
| | | 園部 峻也 | 下中2 | | | | | | | | | | | |
| 5 | マルイ洋品店 | 岩井紗里花 | 下小5 | | | | | | | | | | | |
| 6 | ヨシザワ洋品店 | 坂本 稔 | 下小6 | | | | | | | | | | | |
| 7 | 桜井電気商会 | 三輪白希香 | 下小3 | | | | | | | | | | | |



「言葉の壁を越えて」

下仁田中学校3年 神戸 美紅

二年前に、いとこの家にホームステイに来た台湾の大学生が、今年の夏休みに遊びに来ました。

初めて話したときよりも、日本語が上手になっていて、少しは話が通じたものの、やはり自分が本当に聞きたいことや、言いたいことなどが思うように相手に伝えられず、二つ二つの会話がとても困難でした。

台湾語は、中国語とは多少異なり、日本語の漢字などと似ているため、漢字を紙に書いたりしながら会話を進めていくと、日本のアイドルグループや、タレントなどが好きということがわかりました。言いたいことはたくさんあるのに、うまく伝えられず、悩んでいた私は、共通の話題があり、それについて楽しく話し合えることにとっても大きな喜びを感じました。

しかし、相手は、日本のことについてたくさん学び、日本語も頑張って覚えて日本に来たのに、私は台湾の言葉や文化を調べたり、学んだりせずに、迎えてしまったことに気がつきました。きっと英語が通じるだろうなあと私自身が思い込んでいたからです。英語は当たり前前に勉強しているのに、他の国の言葉は勉強しなくてもいいという意識があったのだと思います。

フィリピンを訪れたときも、主体は英語でしたが、現地の人が使っているタガログ語という言葉の存在さえ知りませんでした。それを知った上でも、調べたり勉強したりはしませんでした。なぜなら、英語を理解することさえ困難な私に、いろいろな言語を覚えるのは無理だとわかってい

たからです。

しかし、言葉が通じないからといって、その国の人を避けたり、偏見を持つことはとても失礼なことだと思います。外国の方が日本に来たときに、たとえどんな国の人であっても、その人を少しでも理解しようとする心や、温かくもてなすという気持ちが持てたら、自分の世界観も百八十度変わると思います。

台湾の大学生は、一週間近く泊まっていたので、その間に私は、少しでも台湾の言葉を覚えようと思い、電子辞書を使ったり、パソコンを使ったりして、簡単なあいさつや表現を学んでみました。日本語にはない発音があったり、同じような言葉があったりして、思っていた以上に大変でした。しかし、台湾の言葉で話しかけたら、とても嬉しそうな表情を浮かべながら返事をしてくれました。自分の国の言葉に少しでも興味を持ち、学んでくれることは、とても嬉しいことだと思います。

そして、私が一番思ったのは、ホームステイや留学などではなく、私たちが日本人のことを信頼して、遊びに来てくれたことが、一番嬉しかったということです。その大学生は、来てから帰るまで、何回も「ニホン、ダイスキ」と、とびきりの笑顔で言っていました。

今、日本は海外からとても信頼されていて、たくさんの方々が移住してきたり、旅行に来ています。震災があったときも、様々な国が助けてくれたり、応援したりしてくれました。

そのように、世界中から注目されている日本、そして日本人が、今よりもっと偏見や先入観を取り払って、一人一人が海外の方達を歓迎する気持ちを持つことがとても大切だと思います。

今、私たちの前に立ちまはだかる言葉の壁は、高く大きいけれど、心の壁は自分たちで小さくすることができます。これからは、絶えず心の壁を小さくし、誰とでも、どんな国の、どんな言葉を話す人とも、心を開き合い、お互いに理解し合えるような人になりたいと強く思いました。

今回、台湾から来てくれた大学生の二人と出会ったことで、たくさん